

会員発エコ商品情報

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

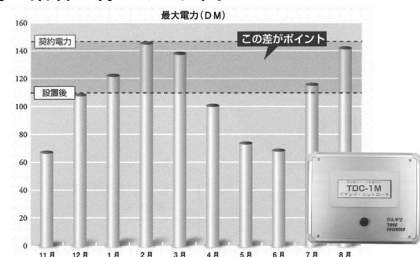
ピークカットはおまかせ! 次世代型「デマンドコントローラー」

株式会社ヨシダヤ

空調機器を自在に制御でき、無理なくピークカットできるデマンドコントローラーです。デマンドコントローラーは設置をした翌月からデマンド(基本料金)を下げることで投資回収期間が短期なもの魅力のひとつです。

制御方式での特許を取得し、第37回発明大賞を受賞した商品なので自信を持ってお勧めいたします。商品開発から施工まで全て滋賀県内の業者で行っています。

電気料金の値上げが目の前に迫った今、電気を上手に使ってコスト削減につなげる必要があるのではないのでしょうか。詳しくはwebで。



＜お問合せ＞ 株式会社ヨシダヤ
滋賀県高島市今津町今津1596-1
TEL:0740-22-0055 E-mail:info@yosidaya.co.jp
URL:http://www.yosidaya.co.jp/

「びわ湖と木の葉書」 縦・杉・檜

一般社団法人kikito

「びわ湖と木の葉書」は、滋賀県の奥永源寺のおじいちゃんが端正込めて作りしています。自然のもので、一枚一枚木目も色も異なります。木の温もりと自然の香りのする葉書で、お使いしてみたいかがですか?



◆販売郵便局
滋賀／近江日野・木浜・大津中央・愛知川・彦根・長浜・八日市・草津・堅田・信楽・多賀・豊郷・横関・大津駅前・大津市役所内
京都／京都中央・京都府立医大病院内・東山・京都百万遍・中京・京都大学病院内・京都高島屋内
大阪／大阪中央・吹田阪大病院内・吹田千里・大阪OAPタワー内
兵庫／東灘・神戸元町
東京／東京中央

＜お問合せ＞ 一般社団法人kikito
滋賀県東近江市一式町564-5
TEL:080-3862-1438 E-mail:info@kikito.jp
URL:http://www.kikito.jp/

編集後記

小生 平成24年度の定期人事異動で現職場に配属となり、本市も滋賀GPNに加入しグリーン購入を全庁挙げて推進していることを改めて知ることとなりました。「たかが・グリーン購入」「されど・グリーン購入」馴染みのフレーズかと思いますが、学習や活動を重ねるごとに、今更ながらその奥深さなるものを感じています。環境先進県として、いち早く地元・滋賀県が取り組んだグリーン購入のネットワークの輪が全国区になっていることは大変誇りに思うところであり、「グリーン購入活動」を推進していくことは、持続可能な社会の構築に寄与していくものと確信しています。滋賀GPNは、環境負荷低減活動のより良い推進に向け、より高い信頼に呼応できる体制整備のために、一般社団法人に移行しようとしています。今後とも組織の進展のため、結集する会員の皆さまと連携して参りたいと存じます。

最後に、過日(2013/01/16)本市で開催されました、『グリーン購入セミナーin東近江市』にご参集いただきました会員の皆さまには紙上ではありますが、改めまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(普及啓発部 吉瀬久和／東近江市 生活環境課)

「環境保全」「ネットワーク組織」という言葉に惹かれて志願し、着任したのは2001年10月。期待で胸をふくらませて勤務についてのも束の間、一人でこなす事務局業務は想像以上に大変で、あふれる期待は直ぐに泥船に乗ったような不安に変わった。事業の企画運営のかたわら、会員からの問い合わせや要望に誠心誠意対応するためには、とても時間が足りない。わからないことだらけの中ひとつずつ調べながら手探りで業務を進める毎日、責任の重さに押しつぶされそうにもなった。様々な要因から解散の危機に追い込まれたこともあった。不安定な事務局体制でありながら、その度に切り抜けることができたのは、会員の皆様の協力や励ましがあればこそだった。自分は一人じゃない、みんなと一緒に頑張った。

あれから10年を超える時が過ぎ、事務局の仲間が増え、会員数も活動も拡大した。これまで支えてくださった皆様のお蔭と心から感謝申し上げたい。

この春、みんなで船を乗り換えることになった。共に創り上げた大きくて安定した船だ。たとえ荒波が来ても揺れたり沈んだりはない。さあさあお乗り遅れないように。行先は「持続可能な未来」です。

(滋賀GPN事務局次長 辻 博子)

編集・発行／滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807
滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階
TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586
E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:http://www.shigagpn.gr.jp/



このニュースレターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。

CONTENTS

- 2013年春、滋賀GPNは一般社団法人へ
全員一丸となり、さらなる発展を！ 1
- ◎滋賀GPN これまでの歩み 2
- ◎新規会員紹介 3
- ◎ふりかえり「びわ湖環境ビジネスメッセ」 4
- ◎「びわ湖環境ビジネスメッセ2012」 5
- Topics 第14回グリーン購入大賞 5
- Report1 びわっこエコCMコンテスト 6
- Report2 エコノザウルスの環境フォーラム 7
- 会員発エコ商品情報 8
- 編集後記 8

2013年春 滋賀GPNは一般社団法人へ 会員一丸となり、さらなる発展を!

1999年に設立された滋賀GPNは、グリーン購入の普及啓発活動に取り組み、県内事業者、県民のグリーン購入活動の促進、環境配慮型商品の普及拡大に寄与してまいりました。設立時に242団体だった会員は、13年を経た現在、460団体を超えるまでに成長いたしました。そして、2013年4月、滋賀GPNは一般社団法人として法人化し新たな一歩を歩み始めます。

そこで今回は、今年度事業にご協力いただいた会員のうち6名の方から、法人化に向けたメッセージをいただきました。



滋賀GPNには2000年に入会し、セミナーへの参加や会員の方々との交流により様々な情報を得ることが出来ました。法人化により、ますます会員企業が増え、ネットワークが強化されることを期待しております。

(株)ノエビア 滋賀工場内 ISO事務局
坂本 公美恵さん
※2012年9月「事業所見学セミナー」協力、
10月メッセ「ミニセミナー」講師協力



昨年入会させていただきました。今年は滋賀GPNの活動への関わりを深めていき、会員企業様の取組事例を学び、自社への取り組みを積極的にと考えています。

(株)千成亭 代表取締役社長
上田 健一郎さん
※2012年12月
GPブラン滋賀「実践講座」講師協力



設立当初から活動に関わらせていただいていた滋賀GPNが、いよいよ法人化すると伺い嬉しく思います。今後ますますの発展に向けて、当社も協力していきます。

コクヨマーケティング(株) サプライビジネスカンパニー
京滋営業グループマネージャー
高橋 伸年さん
※2012年10月 ビジネスメッセ協働出展、
「ミニセミナー」講師協力



誰にでもできる食のeco活動「地産地消」を推進!!滋賀GPNの「さらなるNetWork活動」の旋風に乗り遅れないよう、産地より「三方よし」を提案したいと思います。

おうみ富士農業協同組合
ファーマーズマーケット事業部 部長
川端 均さん
※2012年9月 グリーン購入大賞
「審査員奨励賞」受賞



法人化することで、全国にある地域組織に対してイニシアティブを発揮し、環境熱心県「滋賀」を再度全国に発信する中心となる組織に成長していけるのではないかと考えます。

油藤商事(株) 専務取締役
青山 裕史さん
※2013年1月
「グリーン購入セミナーin東近江市」講師協力



大津市では、自治体としてグリーン購入の推進に取り組んでいます。今後一般社団法人となる滋賀GPNの活動として、情報交換会などの充実により、さらなる会員相互の連帯した取組を期待いたします。

大津市 環境政策課
福田 奈緒美さん
※2012年5月 自治体のグリーン購入担当者
連絡会議で事例報告

滋賀GPN これまでの歩み

1996年 2月	全国組織のグリーン購入ネットワーク(事務局:東京)が設立される(会員73団体中、滋賀県内の会員2団体)
1998年 10月	県庁で地域ネットワーク設立について検討が始まる
1999年 4月	23団体による地域ネットワーク設立検討会設置
10月	68団体と2名による設立準備会2回開催
1999年 12月16日	「滋賀グリーン購入ネットワーク設立総会」開催(会員242団体)事務局を社団法人滋賀県環境保全協会内に設置
2000年 2月	会員数が300団体を超える
2001年 4月	会員の企画・運営による4つの研究会が発足(食のグリーン購入、機密書類処理方法、自治体のグリーン購入、グリーン購入評価手法)
7～8月	「なぎさエコらいふ21」出展、延べ190名の会員がスタッフとして協力
11月	初の「びわ湖環境ビジネスメッセ(以下メッセ)」出展
2002年	研究会活動が活発化 各研究会ともに年2～4回のセミナーを開催10月を「グリーン購入キャンペーン」月間と定め、会員に取り組み強化の呼びかけを始める
2003年 3月	評価手法研究会の活動成果「グリーン購入自己診断システム」開設
4月	事務局が財団法人淡海環境保全財団内に移転
7月	初の「事業所見学会」開催(松下電工・キリンビール)
11月	「第6回グリーン購入大賞」民間団体部門「大賞」受賞メッセで、初の「会員協働出展」を実施
2004年 10月	メッセ期間中のイベントとして、会員の出展ブースが連携して実施する「滋賀GPNスタンプ&クイズラリー」を開始
11月	「5周年記念フォーラム」琵琶湖汽船“ピアノカ”船上で開催
2005年 2月	会員の商品・活動を紹介する「会員情報サイト」開設
2006年 4月	県より初めて3つの事業を受託(エコライフ推進課、出納局管理課、環境こだわり農業課より)県登録制度「GPプラン滋賀」事務局を兼ねた独立事務所を構える
10月	県受託事業として「環境にやさしい買い物キャンペーン」の啓発イベントを協力店で開催(以後毎年)
2007年 1月	会員数が400団体を超える
3月	子ども向けサイト「グリーン購入ってなあに？」開設
6月	かよい箱プロジェクト「エコラボはーと・しが」開始
10月	「第9回グリーン購入大賞」「優秀賞」GPプラン滋賀にて県と共同受賞
2008年	自治体担当者の連絡会議をこの年より年2回開催
10月	事業所食堂の取組「地産地消フェア」開始
2009年 6月	自治体連携「びわ湖一周『買うならエコ!』リレー」開始
11月	「10周年記念イベント」を平和堂ビバシティで開催
2010年	毎年度のGPプラン十数回の研修に加え、地域ごとの研修会を県内7か所で開催(県受託事業) この年より通常総会終了後に「会員情報交換会」を開催
2011年 6月	「組織的なグリーン購入の取組実態調査」実施
8月	「夏休み親子エコ体験ツアー」開催
9月	消費者向け啓発誌「買うならエコ!」発行開始
11月	「事業者交流会」省エネをテーマに初開催
2012年 8月	「びわっ子エコCMコンテスト」実施「一般社団法人設立準備会」を組織し、法人化の準備を進める



▲湖国21世紀記念事業「なぎさエコらいふ21」



▲船上で開催した「5周年記念フォーラム」



▲環境にやさしい買い物キャンペーン



▲「10周年記念イベント」嘉田知事の講演



▲『買うならエコ!』リレー(2011年栗東市)



▲「事業所見学会」2011年(堺港発電所)

新規会員紹介

2012年7月1日から2013年1月31日までの入会者

法人化を前に、新しい仲間が増えました!

石釜パンcaféつむぎ (高橋幸恵)
できるだけ無農薬・近場の物・手作りをモットーに、薪の石釜で天然酵母のパンを焼いています。豊かな自然への感謝を忘れずに。

株式会社エコパレット滋賀 (常務取締役工場長 為井章宏)
家庭から排出される容器包装プラスチックごみをリサイクルし、物流用の再生プラスチックパレットを製造・販売しています。

株式会社木の家専門店 谷口工務店 (設計部 広報課 課長 佐藤恭子)
太陽や風などの自然エネルギーの力をできる限り活かして、住む人にも環境にもやさしく気持ちの良いパッシブデザインの住まいを、真心と技を込めてつくります。

株式会社サンエー (ビジネスセンター長 徳地節子)
環境に配慮した、陶器屑で作った「エコセルベン」を販売しています。スリッパ防止効果があり、工場内のカラー舗装や通学路に使用されています。

滋賀双葉ビル整備株式会社 (常務取締役 増田雄一)
快適な建物環境の創造が私達の仕事であり、GPNを通じて大きな視点から環境を意識した取り組みで 社会貢献できればと考えます。

株式会社ダイフク (生産統括 環境・品質システム部 係長 山本剛広)
皆様との交流や勉強の機会を楽しみにしております。自社や地域の問題を解決するため、前向きに参加させていただきます。

有限会社テクノワークー級建築士事務所 (代表取締役 鋒山巳之助)
伝統、文化、自然豊かな滋賀県。その土地に長年住まれた古民家を再生して、その文化や教育を子供達の時代に伝えていきたいと思っています。

株式会社ベストレイク (代表取締役 福島芳朗)
弊社は、生命保険、損害保険の代理業を行なっています。これから滋賀グリーン購入ネットワークの会員として、グリーン購入の取組を進めていきたいと思っています。

財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC) (事務局長 加賀爪敏明)
世界の湖の持続的な管理と保全を目指して、調査研究、研修事業や世界湖沼会議の開催など国際的な活動を展開しています。

社団法人滋賀県造林公社 (総務・企画開発課 主幹 山路法明)
約2万haの公社林では、琵琶湖森林づくりパートナーや間伐材等の林地残材活用など、多様な主体による森林づくり活動を求めています。

株式会社アクロス商事 (滋賀営業所 滋賀物流センター 所長代理 古川彰一)
創業90年、合併を機に社名を変更し新たにスタートしました。地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、あらゆる活動を通じて環境意識の高い企業であることを目指します。

有限会社荒木テクニカル (代表取締役 荒木豊)
弊社は電気に関する工事及び物品の販売・保守を行っています。今後も計画停電や節電要請が企業・家庭に一層強いられることが懸念されます。そこで、創エネ(太陽光発電)蓄エネ(蓄電設備)省エネ(LED照明など)のエコに関する事業を推進しグリーン購入の普及に努めていきます。

INDY motor shop (代表 駒阪浩司)
Jカー(中古車)が究極のリユースだとの考えのもと環境に適した素材を使い、付加価値の有るカスタムカー製作と販売に取り組んでおります。

株式会社カワセコーポレーション (代表取締役 金子萬千子)
弊社は、昭和20年創業より電気設備、消防防災関係の工事を行っています。入会をきっかけに自然エネルギーの普及、グリーン購入の輪を広めたいと思います。

株式会社KOHDEN (代表取締役 中谷亘)
LED照明の開発・製造やバイオ発電システムの開発を行っております。地球に優しく環境に貢献できる企業として取り組んでまいります。

株式会社三東工業社 (総務部 中山真由美)
グリーン購入ネットワークの新会員として今後はさらに、身近なこと・できることから環境保全に貢献していきたいと考えております。

ダイハツ工業株式会社 滋賀(竜王)工場 (滋賀(竜王)工場長 中野等)
弊社滋賀(竜王)工場では、グリーン購入法適合車種である「ムーヴ」と「タント」を生産しております。会員の皆様のご支援・ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

高橋金属株式会社 (代表取締役社長 高橋康之)
びわ湖のほとりで育まれた企業として、電解イオン水洗浄機など環境にやさしい商品の開発・販売などを通じて環境保全に努めて参ります。

トクデン株式会社 (資材部 部長 松本雄三)
誘導発熱ジャケットロール、過熱蒸気発生装置など省エネ／環境配慮型製品を製造しています。今後はあらゆる購入品や加工において「グリーン購入」の意識を高め実践していきたいと考えています。

株式会社マザーコスモ (代表取締役 山中敏男)
植物性廃棄物を利用したバイオエタノール事業及び土壌汚染調査修復事業を行っています。GPN入会により、さらなる地球環境の維持改善に向けて、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

公益財団法人滋賀県交通安全協会 (会長 南清右衛門)
幼児から高齢者まで140万県民を対象にした交通安全ボランティア活動を展開しております。皆様のご理解とご支援をお願いします。

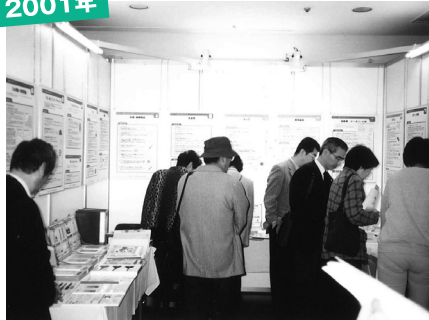
現会員数:463
(企業399、行政21、非営利団体43)
2013年1月31日現在



ふりかえり「びわ湖環境ビジネスメッセ」

日本最大級の環境総合見本市として、毎年長浜ドーム（長浜市）で開催される「びわ湖環境ビジネスメッセ（以下メッセ）」。

2001年



「第9回世界湖沼会議」と同時開催の「国際環境メッセ」として米原・長浜2会場で開催されました。滋賀GPNは米原会場の導入ゾーンに初出展。会員数社にスタッフとしてご協力いただきました。

2003年



ブースを前年の1小間から、倍の2小間に広げて出展。初の協働出展として会員の商品を展示。制服、デスク、PC、コピー機、そして様々な事務用品をお借りして、グリーンなオフィスを表現しました。



メッセ出展時のスタッフは、会員が交代でボランティアにて務めています。

2004年



会員ブース連携「スタンプ&クイズラリー」がスタート。抽選会場スタッフは、たすきをかけた会員が務めます。写真は、景品を手にする「ラリー参加者第1号」。



2005年



「会員協働出展」を有償でスペース展示をしていただく方法に変更しました。「自社でブース出展するほどではないがメッセには出展してみたい」という会員に好評です。協働出展から自社ブースでの出展へと発展していく会員も出ています。

2007年



県関係課との協働連携により「グリーン購入ひろば」とし6～10小間のゾーン出展ができるようになりました。会員による「協働出展コーナー」、「スタンプ&クイズラリー」も継続しています。

2008年



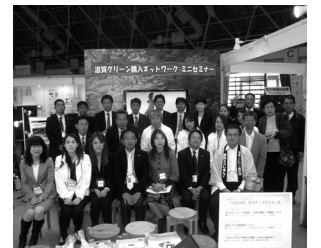
スタッフジャンパーができました。

そして、2012年 「びわ湖環境ビジネスメッセ2012」

●開催期間：2012年10月24日～26日 ●会場：長浜ドーム

滋賀GPNにとって恒例行事となったメッセへの出展。2012年度は、京セラ(株)滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場の4小間スペースの出展協力より、さらに内容を拡大することができました。

初の試みとして実施した会員講師による「ミニセミナー」には延べ400人以上が参加し、会場を盛り上げました。



スタッフ(3日目)記念撮影



「自然との共生」をテーマとする京セラブースでは、クイズラリーやエコ診断が実施されました。



こちらはミニセミナーコーナー。写真は上西産業エースウェア営業部 梶さんのセミナー。廃棄物バスターズも応援。



会員協働出展コーナー

【グリーン購入ひろば出展協力者】 京セラ(株)滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場、滋賀県

【会員協働出展者】 コクヨマーケティング(株)、滋賀県産間伐材有効利用促進グループ、(有)ワイエス商事、廃棄物バスターズ、おうみ富士農業協同組合

【ミニセミナー講師協力者】 NPO 碧いびわ湖、旭化成住工(株)、ウッドワーク滋賀 堤木工所、(株)木下カンセー、京セラ(株)滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場、コクヨマーケティング(株)、上西産業(株)、新江州(株)、たねやグループ、(株)ノエビア、(有)美鈴環境サービス、(株)ロハス余呉、滋賀県

【スタンプ&クイズラリー参加者】 (株)伊藤園、大阪ガス(株)滋賀事業所、関西電力(株)滋賀支店、木村電工(株)、三和産業(株)、(株)滋賀銀行、上西産業(株)、大日本スクリーン製造(株)、中島商事(株)、(株)日吉、(株)平和堂、前出産業(株)、(株)山久、(公財)淡海環境保全財団

その他たくさんの方の会員の皆様にスタッフとしてご協力いただきました。ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

「グリーン購入フォーラムin滋賀2012」開催

●開催日：2012年10月26日 ●場所：長浜バイオ大学 ●参加者：129名

毎年メッセ同時開催セミナーとして開催するグリーン購入フォーラム。今回は、2012年5月より全国GPNの新会長に就任された平尾雅彦東京大学教授にご講演いただき、「第14回グリーン購入大賞」受賞3事業者に取組事例を報告していただきました。



Report 「事業所見学セミナー」開催

●開催日：2012年9月13日 ●場所：(株)ノエビア滋賀工場 ●参加者：37名

天然林に囲まれたノエビア滋賀工場では、従業員のボランティアによる森づくりの活動に取り組まれています。工場見学と併せてその取組報告を伺った後、滋賀県立大学環境科学部の高橋卓也准教授より、滋賀県の森林の状況、企業に期待することなどについてお話いただき、参加者の意見交換を行いました。



Topics

「第14回グリーン購入大賞」滋賀GPN会員より 2者が「審査員奨励賞」受賞!

公立大学法人滋賀県立大学「廃棄物バスターズ」・おうみ富士農業協同組合

廃棄物バスターズは、「リサイクルプラクティス」の普及活動を通して小学校等での環境教育や、障がい者の自立支援を目指した“hana-wa”活動などを幅広く展開し、全国展開も見込める点が、おうみ富士農業協同組合は、「農産物直売所」、「地域食料加工施設(バイキングレストラン)」、「交流施設」の3拠点を中心として地域に食の地産地消を推進してきており、今後の発展が見込める点が、それぞれ評価されました。

(発表：2012年9月24日 主催：グリーン購入ネットワーク)

テレビを通してお茶の間にエコ意識をお届け!

「びわっ子エコCMコンテスト」



2012年夏、滋賀県と滋賀GPNでは「買い物の時にできるエコ(グリーン購入)」を広めるため、滋賀県内の小学生から大学生を対象に「びわっ子エコCMコンテスト」CMアイデア作品の募集を行いました。次世代を担う子どもたちにグリーン購入について考えてもらうことで、子どもたちはもちろんのこと、親世代にもグリーン購入の理解を広げ、優秀作品を使って制作したテレビCMを公開することで、さらに広く、お茶の間に話題を提供し、グリーン購入の実践促進を狙ったものでした。

●開催要項

〔募集期間〕2012年7月1日～9月10日
〔主 催〕滋賀県、滋賀GPN
〔後 援〕株式会社コクヨ工業滋賀、びわ湖放送株式会社、株式会社平和堂、公益財団法人淡海環境保全財団、滋賀県教育委員会

応募総数は77作品。受賞作品は、12月8日から9日にかけて開催した「環境フォーラム」会場に展示し、同会場で表彰式を行いました。受賞されたのは以下の方々です。受賞者の皆様、おめでとうございます。

●CMアイデア大賞

山崎晃代さん(彦根市 大学4年)

●小学生部門

最優秀賞 石田萌瑛さん(東近江市 小学4年)

優 秀 賞 斉戸あづみさん(守山市 小学4年)

近成妃楠さん(甲賀市 小学4年)

●中学生以上部門

最優秀賞 山崎晃代さん(彦根市 大学4年)

優 秀 賞 石森結衣さん(東近江市 大学1年)

村瀬文映さん(彦根市 大学1年)

CMアイデア大賞を受賞された山崎晃代さんの作品を使って制作したCM動画を、滋賀GPNのホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

<http://shigagpn.gr.jp/>


▲「CMアイデア大賞」受賞の山崎さんの作品



なお、このCMの動画イラストは、滋賀県立大学卒業生でグリーンコンシューマーサークルOBの西出尚子さんにお描きいただきました。



▲表彰式で賞状を受け取る山崎晃代さん



▲受賞者と審査員の記念撮影



表彰式を行った「環境フォーラム」会場に「環境マンガ展」を併設しました

(P3参照) →

Report2 エコノザウルスの環境フォーラム

「子どもも大人も知ることから始めよう!」

むずかしい問題をエコノザウルスがわかりやすく教えてくれる!!



びわっ子エコCMコンテスト表彰式に続いて、環境漫画家の本田亮さんに「ユーモアイラストで考える環境問題」と題してご講演いただきました。

趣味は自然の中で冒険することです。サハラ砂漠に行った際、地域の方が砂漠化と戦いながら町を維持している様子を見て、地球規模での環境問題の深刻さを知りました。その時に思ったのです。人間は足元の地球がどんどん崩れて地球の終わりが近づいているのに、気付こうともせず目の前の豊かさだけを追いかけけているのではないか。何かやらなきゃという思いに駆られて漫画を描くことにしました。実はそれまで絵など描いたことも無かったのですが(笑)。とにかく人々に伝えるために今から描こうと、まず個展会場を押さえたのが環境漫画展の始まりです。遠い未来、豊かさばかり追いかけたために絶滅した人間を次の知的生物は何と呼ぶのだろうと考えた時、「エコノザウルス」というキャラクターが生まれました。

貝殻に住むヤドカリを空き缶やペットボトルに住むヤドカリが羨望の眼差しで見ている「夢の高級マイホーム」。世界の4分の1の国で、産業廃棄物を海に捨てていいという法律があります。サイパンにはかつてたくさんのカニが獲れる私の大好きな入江があったのですが、ある時ゴミの山になっていて、カニたちはどうなったのかと悲しくなりました。地球という規模になるとわかりにくいのですが、必ずどこかでゴミを引き受けている場所があって、生物たちが大きなストレスを受けています。私たちはこういった事を知ることから始めなくてはイケませんね。

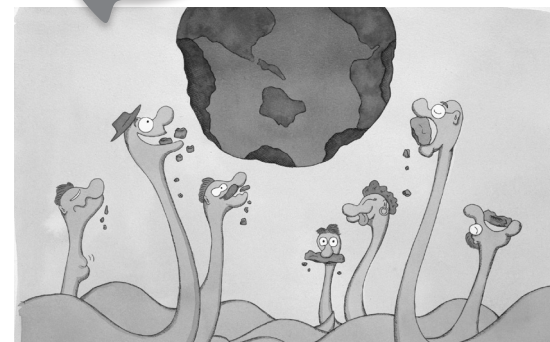
本田亮さんプロフィール:

CMプランナーとしてピッカピカの1年生(小学館)からこだまでしょうか?(AC)まで数多くのCMを手掛ける。1989年より環境漫画家として活動を開始し、「エコノザウルスの環境漫画展」を日本各地で開催。地球環境大賞などを受賞。



本田亮さん作
環境漫画のほんの一部を
ご紹介します。

もうすぐ地球はカラッポだ。このまま経済優先で突き進んでいったら、地球はいつか人間の住めない星になってしまう。



●エコノザウルスが行く!

今日よりも豊かに今日よりも便利になるために人間はあらゆる地球の資源を食べ続けている。ぼくらはエコノザウルスだ。



●夢の高級マイホーム

世界の国の2/3では、公式処分場以外で産業廃棄物を処分している。1/4の国では海に捨ててもいいことになっている。海の生物は燃えないゴミで窒息してしまいそうだ。



●見えないメニュー

日本の家庭から出るゴミの40%は食べ残しだ。しかも、そのうち14%はまったく手つかずの食品。60%の食料を輸入に頼っている日本人がそれでいいのだろうか?